竹林化学工業株式会社

安全データシート

作成　: 2013年10月24日
改定 :

1.　化学品及び会社情報

製品名	:	タケフレックスBRUSH　A液
会社名	:	竹林化学工業株式会社
住所	:	大阪府東大阪市渋川町3丁目1番43号
担当部門	:	品質管理部(担当者　大江吉郎)
電話番号	:	06－6721－6165
FAX.番号	:	06－6720－7308
緊急連絡先	:	06－6721－6165
奨励用途と使用上の制限	:	工業用
整理番号	:	

2.　危険有害性の要約

重要な危険有害性及び影響	:	
GHS分類		
物理化学的危険性		
引火性液体	:	区分外
健康に対する有害性		
急性毒性（経口）	:	区分外
（経皮）	:	区分外
（吸入;気体）	:	分類対象外
（吸入;蒸気）	:	分類できない。
（吸入;粉じん及びミスト）	:	分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	分類できない。
眼損傷性及び眼刺激性	:	分類できない。
呼吸器感作性	:	分類できない。
皮膚感作性	:	分類できない。
生殖細胞変異原生	:	分類できない。
発ガン性	:	分類できない。
生殖毒性	:	分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	分類できない。
吸引性呼吸器有害性	:	区分外
環境に対する有害性		
水生環境有害性(急性)	:	分類できない。
水性環境有害性(長期間)	:	分類できない。
オゾン層への有害性	:	分類できない。

発行日 : 2013年10月25日

GHSラベル要素
絵表示　:　なし。

注意喚起語　:　なし。
危険有害性情報　:　なし。
注意書き
［安全対策］　:　使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
［応急措置］　:　取り扱った後、手を洗うこと。
次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けて下さい。
（皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、
身体上の異常が生じた場合。）
［保管］　:　容器を密閉して、換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
［廃棄］　:　内容物/容器を廃棄する時は、関係省令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

3.　組成及び成分情報
単一製品・混合物の区分　:　混合物
成分及び含有量　:
① NCO基末端ｳﾚﾀﾝﾌﾟﾚﾎﾟﾘﾏｰ　95～98%
② ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾒﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ(PGMAC)　1～5%
③ ﾄﾘﾚﾝｼﾞｲｿｼｱﾈｰﾄ(TDI)　1.0%未満
化学式又は構造式　:
① NCO基末端ｳﾚﾀﾝﾌﾟﾚﾎﾟﾘﾏｰ　構造は特定できない。
② CH3OC3H6OOCCH3
③ CH3C6H3(NCO)2
官報公示整理番号(化審法)　:
① 7-820
② 2-3144
③ 3-2214
官報公示整理番号(安衛法)　:　①～③既存
CAS番号　:
① 非公開
② 108-65-6
③ 26471-62-5

4.　応急措置
吸入した場合　:　新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合　:　多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合　:　直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合　:　水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
応急措置をする者の保護　:　救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5.　火災時の措置
消火剤　:　粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。
使ってはならない消火剤　:　棒状の水。
特有の危険有害性　:　燃焼ガスには、窒素酸化物や一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 ： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護 ： 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素化合物等の有害ガスが含まれているので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

： 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等を着用する。多量の場合、関係者以外を安全な場所に退避させ、風上から作業する。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 ： 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法 ： 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。回収後の床は必要により、中和・除害の処置をとる。
[中和剤の例] 水/炭酸ナトリウム/液体洗剤=90～95/5～10/0.2～2(重量比)

二次災害の防止策 ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密閉しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項 ： 火気厳禁。

安全取扱い注意事項 ： 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保管

適切な保管条件 ： 屋内の通気のよい場所で容器を密閉して保管する。火気厳禁。高湿に注意。
水と反応しやすいので、容器内に水分が入らないように注意すること。窒素シールをして保管する。

安全な容器包装材料 ： 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 ： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。機械類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度 ： 0.005ppm(TDI)

許容濃度

日本産業衛生学会 ： (2012年度版) 0.005ppm、0.035mg/m^3 (TDI)
0.02ppm、0.14mg/m^3 (最大値) (TDI)

ACGIH ： (2013年度版) TWA 0.005ppm、STEL 0.02 (TDI)

保護具
　呼吸器用の保護具 : 必要により有機溶剤用防毒マスク。
　手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
　眼の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)
　皮膚及び身体の保護具 : 静電気防止加工長袖作業衣等。
適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態
　形状 : 粘稠液体
　色 : 淡黄色
　臭い : 特異臭あり。
　臭いの閾値 : データなし。
　pH : データなし。
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
　沸点 : データなし。
　融点 : データなし。
　分解温度 : データなし。
引火点 : 190℃(COC)
発火点 : データなし。
爆発特性
　爆発限界　上限 : データなし。
　爆発限界　下限 : データなし。
蒸気圧 : データなし。
蒸気密度 : データなし。
比重 : 約1.05(20℃)
溶解性
　水溶解性 : 難溶
　溶媒溶解性 : ｴｽﾃﾙ系、ｹﾄﾝ系、芳香族系の有機溶剤に可溶。
n−オクタノール/水分配係数 : データなし。
自然発火温度 : データなし。
その他のデータ : 粘度;8000mPa・s(20℃)

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱い条件において、光、熱、衝撃に対し化学的に安定。
危険有害反応可能性 : 本製品は非常に活性が強く、水、アルコール、アミンなどの活性水素化合物と反応して発熱する。塩基性物質や、ある種の金属化合物の存在によって重合発熱する。水と反応して二酸化炭素を発生する。
避けるべき条件 : イソシアネートと反応する水等との接触を避けること。
混触危険物質 : 銅及びこれらの合金、アルミニウム、ポリ塩化ビニル。
危険有害な分解生成物 : 窒素化合物。
その他 : 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性　(経口) : LD50　6,422mg/kg(計算値)(未知成分96%)
　(経皮) : 区分外(未知成分96%以外は区分外)
　(吸入:気体) : 分類対象外
　(吸入:蒸気) : データなし。

（吸入：粉じん及びミスト） : データなし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データなし。（但し、TDIは区分2、PGMACは区分外） 1)2)
眼損傷性及び眼刺激性 : データなし。（但し、TDIは区分2A、PGMACは区分2B） 1)2)
呼吸器感作性又は皮膚感作成 : 呼吸器感作性；データなし。（但し、TDIは区分1） 1)
皮膚感作性；データなし。（但し、TDIは区分1、PGMACは区分外） 1)2)
生殖細胞変異原性 : データなし。
発ガン性 : 区分外（但し、TDIは区分2） 1)
IARC : グループ2B (TDI)
日本産業衛生学会 : 第2群B(TDI)
生殖毒性 : データなし。（但し、PGMACは区分外）
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
: データなし。（但し、TDIは区分1、PGMACは区分3） 1)2)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
: データなし。（但し、TDIは区分1） 1)
吸引性呼吸器有害性 : 区分外(動粘度 ； 20.5mm^2/s以上）

12. 環境影響情報
生態毒性 : データなし。（但し、TDIは区分3、PGMACは区分外） 1)2)
残留性/分解性 : データなし。（但し、PGMACは区分外） 2)
生体蓄積性 : データなし。
土壌中の移動度 : データなし。
その他のデータ : データなし。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意
国内法規制　陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
航空輸送 : 航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
国際法規制 : 航空運輸はIATA、および海上輸送はIMDGの規制に従う。
国連分類 : 国連分類基準に該当しない。
国連番号 : －
国連品名 : －
容器等級 : －
海洋汚染物質 : 該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件
: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。消防法危険物第4類第3石油類に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。船舶安全

法に基づく危規則の引火性液体類に該当するので、海上輸送の場合には、同法に従って容器、標識およびその他必要な措置を講じて輸送する。
[但し、未反応TDI 1%未満]

15. 適用法令

国内適用法

化審法	特定化学物質	:	否
	監視化学物質		
	優先評価化学物質		
消防法	危険物	:	第4類 第3石油類(非水溶性) 危険等級Ⅲ
	表示	:	否
	有機則	:	否
	特化則	:	否
	通知対象物質	:	405号 トリレンジイソシアネート
毒物劇物取締法		:	否
船舶安全法		:	否
航空法		:	否
化学物質管理促進法(PRTR法)		:	否
海洋汚染防止法		:	否
悪臭防止法		:	否
安衛法		:	否

16. その他の情報

引用文献

1) ウレタン原料工業会
2) 安全衛生情報センター

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

記載内容の問合せ先
会社 : 竹林化学工業株式会社
担当部門 : 品質管理部(担当者 大江吉郎)

発行日 : 2013年10月25日

竹林化学工業株式会社

安全データシート

作成　: 2013年10月26日
改定:

1.　化学品及び会社情報

製品名	:	タケフレックスBRUSH B液
会社名	:	竹林化学工業株式会社
住所	:	大阪府東大阪市渋川町3丁目1番43号
担当部門	:	品質管理部(担当者　大江吉郎)
電話番号	:	06－6721－6165
FAX.番号	:	06－6720－7308
緊急連絡先	:	06－6721－6165
奨励用途と使用上の制限	:	工業用
整理番号	:	

2.　危険有害性の要約

重要な危険有害性及び影響	:	
GHS分類		
物理化学的危険性		
可燃性固体	:	区分2
健康に対する有害性		
急性毒性（経口）	:	区分外
（経皮）	:	分類できない。
（吸入;気体）	:	分類できない。
（吸入;蒸気）	:	分類できない。
（吸入;粉じん及びミスト）	:	分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	分類できない。
眼損傷性及び眼刺激性	:	区分2眼
呼吸器感作性	:	分類できない。
皮膚感作性	:	分類できない。
生殖細胞変異原生	:	分類できない。
発ガン性	:	分類できない。
生殖毒性	:	分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	区分外
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	区分外
吸引性呼吸器有害性	:	分類できない。
環境に対する有害性		
水生環境有害性(急性)	:	分類できない。
水性環境有害性(長期間)	:	区分2
オゾン層への有害性	:	分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 ：

注意喚起語 ： 警告

危険有害性情報 ： ・可燃性固体
・強い眼刺激
・長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

[安全対策] ： 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 －禁煙。
容器及び受器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

[応急措置] ： 取り扱った後、手を洗うこと。
次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けて下さい。
（皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、
身体上の異常が生じた場合。）
火災の場合：消火するために粉末消火剤、泡消火剤等を使用すること。
眼に入った場合 ： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

[保管] ： 容器を密閉して、換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

[廃棄] ： 内容物/容器を廃棄する時は、関係省令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 ： 混合物

成分及び含有量 ：

	成分	含有量
①	ポリオール	83～ 88%
②	アミン化合物	5～10%
③	ｼﾞｵｸﾁﾙｽｽﾞ（Ⅳ）ｼﾞﾗｳﾚｰﾄ	1～2%
④	その他（界面活性剤等）	11%以内

化学式又は構造式 ：
① 非公開
② 非公開
③ (Oct)2Sn[OCO(CH2)10CH3]2
④ 非公開

官報公示整理番号(化審法) ：
① 非公開
② 非公開
③ (3)-3424
④ 非公開

官報公示整理番号(安衛法) ： ①～⑥既存

CAS番号 ：
① 非公開
② 非公開
③ 3648-18-8
④ 非公開

4. 応急措置

吸入した場合 ： 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。必要に応

じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 ： 多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合 ： 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 ： 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護 ： 救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 ： 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。

使ってはならない消火剤 ： 棒状の水。

特有の危険有害性 ： 燃焼ガスには、窒素酸化物や一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 ： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護 ： 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素化合物等の有害ガスが含まれているので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

： 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。多量の場合、関係者以外を安全な場所に退避させ、風上から作業する。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 ： 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法 ： 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、シャベル等でドラムに回収する

二次災害の防止策 ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密閉しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項 ： 火気厳禁。

安全取扱い注意事項 ： 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保管

適切な保管条件 ： 屋内の通気のよい場所で容器を密閉して保管する。火気厳禁。高湿に注意。

安全な容器包装材料 ： 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 ： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。機械類は防爆構造とし、

設備は静電気対策を実施する。

管理濃度 :

許容濃度

日本産業衛生学会 :

ACGIH : (2009年度版) TLV-TWA 0.1 mg/m^3 (Snとして)
TLV-STEL 0.2 mg/m^3 (Snとして)
TLV-C 0.2 mg/m^3 (Snとして)

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要により有機溶剤用防毒マスク。

手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。

眼の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)

皮膚及び身体の保護具 : 静電気防止加工長袖作業衣等。

適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状 : ペースト状

色 : 淡褐色

臭い : 僅かに固有の臭気あり。

臭いの閾値 : データなし。

pH : データなし(水不溶)

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし。

融点 : データなし。

分解温度 : データなし。

引火点 : 93℃以上

発火点 : データなし。

爆発特性

爆発限界 上限 : データなし。

爆発限界 下限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。

蒸気密度 : データなし。

比重 : データなし。

溶解性

水溶解性 : 難溶

溶媒溶解性 : トルエン、キシレン、酢酸エチル等に可溶。

n-オクタノール/水分配係数 : データなし。

自然発火温度 : データなし。

その他のデータ :

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱い条件において、光、熱、衝撃に対し化学的に安定。

危険有害反応可能性 : 自己反応性なし。

避けるべき条件 : 情報なし。

混触危険物質 : 強酸、強酸化剤

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物、酸化窒素

その他 : 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性　(経口)	:	区分外 ラットLD50　738mg/kg(芳香族アミンとして) ラットLD50　6450mg/kg(ジオクチルスズⅣジラウレートとして)
(経皮)	:	ウサギLD50　＞2000mg/kg(芳香族アミンとして)
(吸入:気体)	:	分類できない
(吸入:蒸気)	:	分類できない
(吸入:粉じん及びミスト)	:	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	分類できない。(ただし芳香族アミンとして皮膚を通して吸収すると有害)
眼損傷性及び眼刺激性	:	区分2(芳香族アミン)
呼吸器感作性又は皮膚感作成	:	呼吸器感作性;分類できない。 皮膚感作性;分類できない。 (但し、過敏な人では感作がおこることがある(芳香族アミンとして))
生殖細胞変異原性	:	分類できない。
発ガン性	:	分類できない。
IARC	:	分類できない。
日本産業衛生学会	:	分類できない。
生殖毒性	:	分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	区分外
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	区分外(芳香族アミンが区分2)
吸引性呼吸器有害性	:	区分外(動粘度 ; 20.5mm^2/s以上)

12. 環境影響情報

生態毒性	:	急性区分外(芳香族アミンが区分1)
残留性/分解性	:	長期区分2;(芳香族アミンが区分1)
生体蓄積性	:	データなし。
土壌中の移動度	:	データなし。
その他のデータ	:	データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)の特別管理廃棄物、消防法を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	:	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内法規制　陸上輸送	:	消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送	:	船舶安全法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
航空輸送	:	航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
国際法規制	:	航空運輸はIATA、および海上輸送はIMDGの規制に従う。

竹林化学工業株式会社

国連分類　:　クラス4.1(可燃性固体類)
国連番号　:　UN1325
国連品名　:
容器等級　:　P. G. Ⅲ
海洋汚染物質　:　該当する。(芳香族アミンを含有)

輸送の特定の安全対策及び条件
:　輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令
国内適用法
化審法　特定化学物質　:　(3)-3424　ジ-N-オクチルスズ脂肪酸モノカルボン酸(C2～20)塩
監視化学物質
優先評価化学物質
消防法　危険物　:　指定可燃物(可燃性固体類)
表示　:　否
有機則　:　否
特化則　:　否
通知対象物質　:　否
毒物劇物取締法　:　否
船舶安全法　:　危規則告示別表第1(可燃性物質)
航空法　:　告示別表第1(可燃性物質)
化学物質管理促進法(PRTR法)
:　第一種指定化学物質　政令番号第239号　有機スズ化合物
海洋汚染防止法　:　未査定(芳香族アミン類含有)
悪臭防止法　:　否
安衛法　:　第57条の2　通知対象物質　政令番号第322号(すずおよびその化合物)

16. その他の情報
引用文献
1) 原料MSDS

※　ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

記載内容の問合せ先
会社　:　竹林化学工業株式会社
担当部門　:　品質管理部(担当者　大江吉郎)

発行日 : 2013年10月26日